



7月2日(土)第5回静岡県手話サークル連絡会の定期総会を菊川市総合保健福祉センター「プラザけやき」にて開催しました。約60名の参加者のもと、平成22年度の活動報告、決算報告が承認され、今年度の事務局体制、活動方針、予算などに賛同いただき、今年度会長足立倫太郎のもと平成23年度のスタートを切ることができました。第2部は急遽内容を変更し、東日本大震災の被災地宮城県名取市へ通訳支援に行った県サ連事務局員の津野邊より報告を行い、その後グループに分かれ自分達がそうなったときにできることは何かなど話し合いました。

報告の中では、まだまだ進まない復旧の様子、聴覚障害者への対応の遅れなど厳しい状況報告がされました。また、地元の手話サークル会員など手話関係者から情報提供がなかったこと。そのため、自ら訪問して情報収集しなければならなかったなど、今後予想されている東海地震のときには私たちサークル会員が地震後どのような行動起せばよいのか、たいへん参考になる内容もありました。その後のグループ討議では東部の地震時の対応、東海地震発生後の対応など一人ひとり何ができるかを話し合い、内容の濃い充実した第2部になりました。



### <<地域サ連の定期総会も無事終了。地域ごと実情に合った第2部を開催>>

5月から6月にかけて地域サ連の定期総会が開催され、第2部では地域の実情にあった内容の催しが行われました。

◎東サ連の総会は6月12日(日)伊東市にて過去最高の参加者数(64名)を集め開催されました。第2部では「防災と手話サークル」というテーマで直近に起きた東部での地震時の各自の対応、そのときの聴覚障害者の不安感など討議され充実した意見交換がされました。

◎中サ連の総会は5月22日(日)に島田市にて開催されました。第2部ではサークルの先輩でもある通訳者の方を招いて「手話と私」というテーマで、手話に関わるきっかけから今に至るまでの経験を講演いただきました。明日からサークルがんばろうという気持ちになりました。

◎西サ連の総会は5月15日(日)に磐田市にて開催されました。第2部ではグループに分かれての情報交換会を行い、日頃困っていることや悩み、会員数を増やす方法、学習方法や運営についてなどなど、各サークルからいろいろな話が出されました。1時間という短い時間でしたが、他のサークルの様子を知る良い機会になったのではないかと思います。

西サ連情報交換会



<編集後記>新体制で今年度も活動開始しました。ホツとしたのも束の間、7月31日(日)に事務局会議を行い定期総会アンケートから今年度の地域リーダー養成講座の検討に入りました。また地域サ連事務局員合同会議の内容の検討も始まりました。今年度も地域サ連の情報交換、絆を強めるように努力していきます。